

第 13 回総合治水ワーキングチーム会議の協議結果

日 時 平成 17 年 12 月 1 日 (木) 17:20~21:05

場 所 宝塚商工会議所

出席者 (委員)松本(誠)、奥西、川谷、畑、村岡、長峯、岡田、佐々木、田村、中川
浅見、武田、伊藤、草薙、酒井、谷田、土谷、山仲
(河川管理者)田中、渡邊、松本、前川
(農林水産部)鶴崎 (河川整備課)糟谷 (公園緑地課)橘
(教育委員会)田中
(事務局)黒田、前田、植田、木本

内 容(協議結果)

1 流域対策の検討

協議の結果、次のことを確認した。

- (1) ため池の水位引き下げ、利水ダムの一部治水利用
市街地のため池の水位引き下げ、利水ダム(宝塚市管理のダムを除く)の一部治水利用については、治水効果の試算結果および実現の課題等を次回流域委員会に報告する。
宝塚市管理の利水ダム(川下川ダム、深谷池)の治水効果については、ダム管理者の意向により県が試算しなかった旨を報告する。
- (2) 水田、公園、校庭を活用した雨水貯留
水田、公園、校庭を活用した雨水貯留の課題については、「流域対策における課題」(一覧表)をもとに、ワーキングチーム会議で議論した論点等を、次回流域委員会に報告する。
- (3) 流域対策等の協議手順
WTではこれまでに「対策効果の試算(試算は基本高水ベース)と検証技術面、コスト面等からの実施可能性(評価) 管理運用等実施の方法」の手順で対策案について協議することを確認しているが、基本方針に盛り込む対策(基本高水のピーク流量を分担=カットすることができる対策及び長期的な方針として盛り込む対策)と、整備計画ベースや日常の治水対策(365日の治水)に対応した対策について、個々の対策を仕分けして検討する。
- (4) 森林の保水機能
森林の保水機能については、前回委員会に報告したWTの集約に加えて前回委員会での各委員の意見を松本委員長が整理し、委員会に報告する。

2 次回会議の協議事項

流域対策の検討(継続)
河川対策の検討(継続)

3 今後の日程(開催日時)

第 14 回 12 月 8 日 (木) 17:30~
第 15 回 12 月 13 日 (火) 17:30~20:00
第 16 回 12 月 24 日 (土) 13:30~17:00
第 17 回 1 月 10 日 (火) 13:30~